

## 米国建設機械動向

2020年1月

### 1. 主要建設機械の需給動向

#### (1) 販売動向

米国主要建設機械 2019年11月の販売台数は、全機種合計で前年同月比 26.7%減 (4,190 台減) の 11,490 台となり、5ヶ月連続でマイナスとなった。機種別では、全機種で前年同月比がマイナスとなった。

#### (2) 生産動向

2019年11月の米国における建設機械の生産台数は、全機種が前年同月比で減少した。全機種・全社合計では、前年同月比で 21.8%減の 38,615 台となった。

#### (3) 主要建設機械の輸出入動向

##### ○輸出動向

2019年11月の建設機械輸出は、台数で前年同月比 27.4%減 (1,827 台減) の 4,832 台、金額では 32.1%減 (1億 3,686 万ドル減) の 2億 8,985 万ドルとなった。このうち、中古機輸出は、台数で 15.3%減の 881 台、金額では 12.3%減の 3,194 万ドルである。新車のみ輸出は、台数で 29.7%減、金額では 33.9%の減少となった。機種別では、グレーダー等ならし機、スクレーパーを除く全機種が前年同月比で減少した。

無限軌道式ブルドーザーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 308 台 (うち、中古機 6 台) から 227 台 (うち、中古機 24 台) へ前年同月比で 26.3%減少したのをはじめ、メキシコへの輸出が同 31 台 (うち、中古機 24 台) から 19 台 (うち、中古機 16 台) へ 38.7%減少し、ジャマイカへの輸出が同 14 台 (全て中古機) から 2 台 (うち、中古機 1 台) へ 85.7%減少した。一方、イギリスへの輸出が前年同月の 8 台 (うち、中古機 5 台) から 13 台 (うち、中古機 11 台) へ 62.5%増加し、オーストラリアへの輸出が同 5 台 (全て中古機) から 12 台 (うち、中古機 6 台) へ 140.0%増加、ドイツ、ナイジェリアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 19.0%の減少となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、モロッコへの輸出が前年同月の 24 台 (全て中古機) から実績無しとなったほか、ベトナムへの輸出が同 6 台 (全て中古機) から 1 台 (中古機) へ前年同月比で 83.3%減少し、ホンジュラス、トリニダード・トバゴへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったエジプトへの輸出が 4 台 (うち、中古機 3 台) へと増加し、前年同月に実績の無かったアラブへの輸出が 2 台 (全て中古機) へと増加、バハマ、オーストラリアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 43.9%の減少となった。

グレーダー等ならし機は、カナダへの輸出が前年同月の 31 台から 24 台へ前年同月比で 22.6%減少したほか、メキシコへの輸出が同 21 台から 15 台へ 28.6%減少し、タイへの輸出が同 13 台から 1 台へ 92.3%減、インドネシア、ブラジルへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったパラグアイへの輸出が 15 台へと増加し、ナイジェリアへの輸出が前年同月の 2 台から 14 台へ 600.0%増、オーストラリアへの輸出が同 12 台から 19 台へと増加、イラク、ベルギーへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 2.5%の増加となった。

スクレーパーは、前年同月に実績の無かったオーストラリアへの輸出が 7 台 (うち、中古機 1 台) へと増加したほか、前年同月に実績の無かったドイツへの輸出が 1 台 (新車) へと増加し、前年同月に実績の無かったカンボジアへの輸出が 1 台 (中古機) へと増加した。他方、メキシコへの輸出が前年同月の 3 台 (全て中古機) から実績無しとなり、香港への輸出が同 2 台 (全て新車) から実績無しとなった。全体としては前年同月比で 80.0%増加となった。

タイヤ・振動ロードローラーは、カナダへの輸出が前年同月の 54 台 (うち、中古機 9 台) から 17 台 (うち、中古機 9 台) へ前年同月比で 68.5%減少したほか、メキシコへの輸出が同 37 台 (うち、中古機 31 台) から 20 台 (うち、中古機 13 台) へ 46.0%減、南アフリカへの輸出が同 25 台 (全て新車) から実績無しとなり、アルゼンチン、シンガポールへの輸出も減少した。他方、ドイツへの輸出が前年同月の 27 台 (全て新車) から 47 台 (全て新車) へ 74.1%増加し、オーストラリアへの輸出が同 14 台 (全て新車) から 21 台 (全て新車) へ前年同月比で 50.0%増、エルサルバドル、セネガルへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 23.6%の減少となった。

ホイール・ローダーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 2,273 台 (うち、中古機 81 台) か

ら1,447台（うち、中古機59台）へ前年同月比で36.3%減少したほか、ベルギーへの輸出が同236台（全て新車）から136台（うち、中古機1台）へ42.4%減少し、中国への輸出が同91台（全て新車）から18台（全て新車）へ80.2%減、メキシコ、ペルーへの輸出も減少した。他方、イタリアへの輸出が前年同月の73台（全て新車）から269台（全て新車）へ268.5%増加し、台湾への輸出が同8台（全て新車）から27台（うち、中古機6台）へ237.5%増、ニュージーランドへの輸出が同4台（全て新車）から20台（全て新車）へ400.0%増、サウジアラビア、ロシアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で23.6%の減少となった。

油圧・機械式ショベル（上部構造が360度回転するもの）は、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の682台（うち、中古機28台）から334台（うち、中古機36台）へ前年同月比で51.0%減少したほか、フランスへの輸出が36台（うち、中古機15台）から10台（全て新車）へ72.2%減少し、ベルギーへの輸出が同35台（全て新車）から7台（全て新車）へ80.0%減、ベトナム、イギリスへの輸出も減少した。他方、イタリアへの輸出が前年同月の12台（全て新車）から59台（全て新車）へ391.7%増加したほか、ドミニカへの輸出が5台（うち、中古機1台）から17台（全て中古機）へ240.0%増加し、エジプト、バハマへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で41.7%の減少となった。

油圧・機械式ショベル（その他のもの）は、最大輸出先であったカナダへの輸出が前年同月の350台（うち、中古機55台）から86台（うち、中古機19台）へ75.4%減少したほか、メキシコへの輸出が同261台（うち、中古機198台）から205台（うち、中古機157台）へ21.5%減少し、香港への輸出が同24台（全て中古機）から2台（全て中古機）へ91.7%減、コロンビア、エクアドルへの輸出も減少した。他方、オランダへの輸出が前年同月の15台（うち、中古機1台）から31台（全て新車）へ前年同月比で106.7%増加し、ペルーへの輸出が同10台（うち、中古機6台）から26台（うち、中古機16台）へ160.0%増加、カンボジア、アイルランドへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で37.8%の減少となった。

米国における建設機械輸出動向（11月）

（単位：台、百万ドル）

	2019.11		2018.11		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	341	36.001	421	47.125	▲ 19.0	▲ 23.6
（うち中古機）	107	5.275	94	5.040	13.8	4.7
その他のもの・タイヤドーザー	37	1.691	66	2.227	▲ 43.9	▲ 24.1
（うち中古機）	34	1.327	63	2.105	▲ 46.0	▲ 37.0
グレーダー等平地ならし機	167	27.998	163	32.839	2.5	▲ 14.7
スクレーパー	9	3.496	5	0.959	80.0	264.5
（うち中古機）	2	0.183	3	0.124	▲ 33.3	47.6
タイヤ・振動ロードローラー	159	4.694	208	5.443	▲ 23.6	▲ 13.8
（うち中古機）	40	1.346	61	1.528	▲ 34.4	▲ 11.9
ホイール・ローダー	2,939	147.027	3,830	170.034	▲ 23.3	▲ 13.5
（うち中古機）	227	9.159	224	7.788	1.3	17.6
油圧・機械式シャベル（360度回転）	640	47.141	1,098	125.517	▲ 41.7	▲ 62.4
（うち中古機）	162	6.073	197	8.062	▲ 17.8	▲ 24.7
油圧・機械式シャベル（その他）	540	21.799	868	42.561	▲ 37.8	▲ 48.8
（うち中古機）	309	8.579	398	11.757	▲ 22.4	▲ 27.0
全合計	4,832	289.847	6,659	426.705	▲ 27.4	▲ 32.1
（うち中古機合計）	881	31.941	1,040	36.404	▲ 15.3	▲ 12.3

（出所） U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

11月の国別輸出動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

	金額	2019.11	2018.11	増減		台数	2019.11	2018.11	増減
1	Canada	127.785	259.731	▲ 50.8	1	Canada	2,142	3,705	▲ 42.2
2	Australia	26.067	16.474	58.2	2	Mexico	423	545	▲ 22.4
3	Sweden	17.623	1.196	1,373.2	3	Italy	328	86	281.4
4	Mexico	13.651	17.843	▲ 23.5	4	Australia	318	321	▲ 0.9
5	Italy	13.246	4.487	195.2	5	Belgium	156	276	▲ 43.5
6	Belgium	9.423	10.992	▲ 14.3	6	United Kingdom	79	90	▲ 12.2
7	Saudi Arabia	5.762	1.642	250.9	7	Egypt	78	75	4.0
8	Chile	4.448	5.370	▲ 17.2	8	Germany	77	41	87.8
9	Germany	4.431	2.330	90.2	9	Czech Republic	69	63	9.5
10	Peru	4.117	3.946	4.3	10	Peru	65	83	▲ 21.7
	Others	63.295	102.694	▲ 38.4		Others	1,097	1,374	▲ 20.2
	Total	289.847	426.705	▲ 32.1		Total	4,832	6,659	▲ 27.4

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

○輸入動向

2019年11月の建設機械輸入は、台数で前年同月比9.5%減の11,314台、金額では1.1%減の5億9,601万ドルとなった。このうち、中古機の輸入は、台数で21.9%減の228台、金額では13.1%減の1,107万ドルである。新車だけの輸入は、台数で9.2%減、金額で0.8%の減少となった。機種別では、グレーダー等ならし機、油圧・機械式ショベルを除く全機種が前年同月比で減少した。

無限軌道式ブルドーザーでは、日本からの輸入が前年同月の132台（うち、中古機1台）から82台（全て新車）へ前年同月比で37.9%減少したほか、カナダからの輸入が同20台（うち、中古機19台）から2台（全て新車）へ90.0%減、中国からの輸入が同20台（全て新車）から実績無しとなった。他方、前年同月に実績の無かったポーランドからの輸入が5台（全て新車）へと増加し、前年同月に実績の無かったフランスからの輸入が1台（中古機）へと増加した。全体としては前年同月比で36.1%の減少となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、オーストリアからの輸入が前年同月の14台（全て新車）から実績無しとなったため、日本からの輸入が同2台（全て中古機）から4台（全て中古機）へ前年同月比で100.0%増加し、前年同月に実績の無かったフランスからの輸入が1台（中古機）へと増加したが、全体としては前年同月比で68.8%の減少となった。

グレーダー等ならし機は、輸入の大半を占めるブラジルからの輸入が前年同月の122台から148台へ前年同月比で21.3%増加したほか、ドイツからの輸入が同2台から4台へ100.0%増、前年同月に実績の無かったイタリアからの輸入が3台へと増加したため、日本からの輸入が7台から4台へ42.9%減少したが、全体としては前年同月比で2.27%の増加となった。

スクレーパーは、イギリスからの輸入が前年同月の1台（中古機）から実績無しとなり、全体としても実績無しとなった。

タイヤ・振動ロードローラーは、日本からの輸入が前年同月の1,213台（全て新車）から1,007台（全て新車）へ前年同月比で17.0%減少したほか、中国からの輸入が798台（全て新車）から44台（うち、中古機3台）へ94.5%減、フィリピンからの輸入が同568台（全て新車）から実績無しとなり、カナダ、チェコからの輸入も減少した。他方、ドイツからの輸入が前年同月の1,117台（うち、中古機6台）から1,187台（うち、中古機8台）へ前年同月比で6.3%増加し、イギリスからの輸入が同1台（中古機）から51台（うち、中古機2台）へと大幅に増加、前年同月に実績の無かったアイルランドからの輸入が41台（全て中古機）へと増加した。全体としては前年同月比で34.8%の減少となった。

ホイール・ローダーは、日本からの輸入が前年同月の1,517台（うち、中古機10台）から1,315台（うち、

中古機 6 台)へ前年同月比で 13.3%減少したほか、ドイツからの輸入が同 223 台(うち、中古機 19 台)から 102 台(うち、中古機 3 台)へ 54.3%減、チェコからの輸入が同 223 台(全て新車)から 152 台(全て新車)へ 34.8%減少し、スウェーデン、オランダからの輸入も減少した。一方、オーストリアからの輸入が前年同月の 90 台(うち、中古機 1 台)から 141 台(うち、中古機 1 台)へ 56.7%増加し、イタリアからの輸入が同 38 台(うち、中古機 2 台)から 65 台(うち、中古機 1 台)へ 71.1%増、前年同月に実績の無かったインドからの輸入が 28 台(全て新車)へと増加した。全体としては前年同月比で 11.8%の減少となった。

油圧・機械式ショベル(上部構造が 360 度回転するもの)は、輸入の大半を占める日本からの輸入が前年同月の 3,286 台(うち、中古機 67 台)から 3,427 台(うち、中古機 77 台)へ前年同月比で 4.3%増加したほか、中国からの輸入が同 161 台(全て新車)から 372 台(全て新車)へ 131.1%増加し、チェコからの輸入が同 55 台(全て新車)から 189 台(全て新車)へ 243.6%増、ドイツ、フランスからの輸入も増加した。他方、韓国からの輸入が前年同月の 359 台(うち、中古機 3 台)から 290 台(うち、中古機 5 台)へ前年同月比で 19.2%減少し、オーストリアからの輸入が同 265 台(全て新車)から 116 台(全て新車)へ 56.2%減、イギリスからの輸入が同 100 台(うち、中古機 17 台)から 27 台(うち、中古機 1 台)へ 73.0%減、イタリア、オーストラリアからの輸入も減少した。全体としては前年同月比で 5.9%の増加となった。

油圧・機械式ショベル(その他のもの)は、最大輸入元であるイギリスからの輸入が前年同月の 424 台(うち、中古機 2 台)から 538 台(うち、中古機 4 台)へ前年同月比で 26.8%増加したほか、韓国からの輸入が同 33 台(うち、中古機 1 台)から 143 台(全て新車)へ 333.3%増、前年同月に実績の無かったフィンランドからの輸入が 71 台(うち、中古機 30 台)へと増加し、中国、イタリアからの輸入も増加した。他方、ベルギーからの輸入が前年同月の 4 台(全て中古機)から実績無しとなったほか、フランスからの輸入が同 2 台(全て新車)から実績無しとなり、カナダ、日本からの輸入も減少した。全体としては前年同月比で 69.1%の増加となった。

米国における建設機械輸入動向(11月)

(単位：台、百万ドル)

	2019.11		2018.11		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	152	28.354	238	39.298	▲ 36.1	▲ 27.9
(うち中古機)	1	0.057	28	0.834	▲ 96.4	▲ 93.2
その他のもの・タイヤドーザー	5	0.308	16	3.379	▲ 68.8	▲ 90.9
(うち中古機)	5	0.308	2	0.089	150.0	246.1
グレーダー等平地ならし機	162	32.507	132	28.803	22.7	12.9
スクレーパー	0	0.000	1	0.039	▲ 100.0	▲ 100.0
(うち中古機)	0	0.000	1	0.039	▲ 100.0	▲ 100.0
タイヤ・振動ロードローラー	2,557	20.329	3,922	27.737	▲ 34.8	▲ 26.7
(うち中古機)	58	0.883	18	0.343	222.2	157.5
ホイール・ローダー	2,816	154.614	3,191	190.036	▲ 11.8	▲ 18.6
(うち中古機)	31	2.019	115	3.707	▲ 73.0	▲ 45.5
油圧・機械式シャベル(360度回転)	4,768	322.323	4,501	285.880	5.9	12.7
(うち中古機)	97	6.910	115	7.383	▲ 15.7	▲ 6.4
油圧・機械式シャベル(その他)	854	37.579	505	27.168	69.1	38.3
(うち中古機)	36	0.890	13	0.345	176.9	157.7
全合計	11,314	596.013	12,506	602.340	▲ 9.5	▲ 1.1
(うち中古機合計)	228	11.067	292	12.740	▲ 21.9	▲ 13.1

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

## 11月の国別輸入動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

	金額	2019.11	2018.11	増減
1	Japan	319.980	299.604	6.8
2	Brazil	70.479	69.124	2.0
3	United Kingdom	44.757	46.028	▲ 2.8
4	Korea, South	35.814	45.376	▲ 21.1
5	China	35.134	41.593	▲ 15.5
6	Germany	22.250	33.195	▲ 33.0
7	Austria	14.693	20.646	▲ 28.8
8	France	13.014	5.878	121.4
9	Italy	12.012	8.966	34.0
10	Thailand	6.258	0.624	903.1
	Others	21.622	31.306	▲ 30.9
	Total	596.013	602.340	▲ 1.1

	台数	2019.11	2018.11	増減
1	Japan	5,839	6,158	▲ 5.2
2	Germany	1,495	1,468	1.8
3	Korea, South	897	839	6.9
4	United Kingdom	817	730	11.9
5	China	624	1,126	▲ 44.6
6	Brazil	372	344	8.1
7	Czech Republic	341	310	10.0
8	Italy	263	249	5.6
9	Austria	262	371	▲ 29.4
10	Sweden	82	125	▲ 34.4
	Others	322	786	▲ 59.0
	Total	11,314	12,506	▲ 9.5

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

## 2. 業界動向等

### (1) 2019年11月の建設費支出

米国商務省統計局発表の2019年11月の建設支出総額は、季節調整済み年率換算で1兆3,241億ドルで、10月の1兆3,168億ドルから0.6%増加となった。前年同月比では4.1%の増加である。

2019年11月の民間建設支出額は、季節調整済み年率換算で9,855億ドルで、前月の9,811億ドルから0.4%増加した。このうち、住宅に対する支出は同5,361億ドルで、前月の5,263億ドルから1.9%増加した。

2019年11月の公共建設支出額は、季節調整済み年率換算で3,386億ドルとなり、前月の3,357億ドルから0.9%増加した。このうち、教育建設支出額は同839億ドルで、前月の840億ドルから0.05%減少した。また、高速道路建設支出額は同964億ドルで、前月の943億ドルから2.2%増加した。

(単位：10億ドル)

建設タイプ	2019年 11月(p)	2019年 10月(r)	2019年 9月(r)	2019年 8月	2019年 7月	2018年 11月
建設全体	1,324.1	1,316.8	1,315.2	1,306.0	1,291.3	1,271.4
民間建設(*1)	985.5	981.1	980.0	976.7	962.7	970.2
住宅	536.1	526.3	522.5	518.5	504.6	521.9
宿泊	30.7	31.9	31.4	32.6	32.9	30.5
オフィス	68.7	68.8	68.9	68.9	68.6	64.6
商用	79.1	79.5	81.1	79.3	79.8	83.1
医療	34.8	34.9	35.0	34.3	35.3	32.3
教育	18.1	18.5	18.9	18.6	18.6	20.6
宗教	2.9	2.9	2.8	2.8	2.9	3.1
娯楽	13.3	13.3	13.4	13.8	13.6	15.5
交通	16.2	16.3	16.8	16.4	16.4	17.9
通信	23.3	23.0	23.4	23.6	23.3	23.8
電力	89.7	91.1	92.1	93.6	91.6	86.0
製造	71.2	72.9	72.1	72.7	73.3	69.7
公共建設(*2)	338.6	335.7	335.3	329.3	328.6	301.2
住宅	7.0	7.1	6.9	6.7	6.1	6.1
オフィス	11.3	11.2	11.2	11.1	10.6	9.4
商用	4.2	4.6	4.5	4.2	4.9	3.9
医療	8.9	8.8	9.1	9.1	8.9	9.3
教育	83.9	84.0	81.7	78.6	76.8	74.6
公安	10.5	11.0	10.4	10.5	10.1	9.4
娯楽	13.9	13.7	13.7	14.2	14.0	12.6
交通	39.3	38.6	38.9	39.1	39.4	35.0
電力	7.6	7.2	7.2	7.3	6.4	5.5
高速道路・道路	96.4	94.3	97.2	95.1	97.1	89.6
下水・廃棄物処理	26.5	26.6	26.6	26.2	26.6	22.4
上水道	17.8	17.3	16.8	16.1	16.9	13.7
保護地域・開発	9.6	9.7	9.4	9.5	9.5	7.9

出典：The Census Bureau of the Department of Commerce

Note: (p) : Preliminary、(r) : Revised

(\*1) 民間建設における、公安、高速道路・道路、下水・廃棄物処理、上水道、保護地域・開発に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

(\*2) 公共建設における、宿泊、宗教、通信、製造に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

## (2) 2019年12月の住宅着工件数

2019年12月の新規住宅着工件数は、11月の137万5千戸（調整済み）から16.9%増の160万8千戸（季節調整済み年率換算）となった。前年同月比では40.8%の増加である。一戸建住宅は、105万5千戸で、前月比で11.2%増、前年同月比では29.6%増となった。また、集合住宅は、53万6千戸で、前月比32.0%増、前年同月比では74.6%増となった。地域別に見ると、北東部が前月比で25.5%増加となり、中西部が同37.7%増、最も着工件数が多い南部が9.3%増、西部は19.8%増加した。一方、2019年12月の住宅許可件数は、前月比3.9%減の141万6千戸（季節調整済み年率換算）となり、前年同月比では5.8%増加した。

以上